

幸区区民会議からの提言

1 地域防災活動の推進について ～避難所の運営訓練から広げよう、助け合う地域のちから～

- 避難所運営を行い、地域の関係団体が役割を分担して、より実践的に取組めます。
- 避難時に援護の必要な人への対応策を検討していきます。

提言	提言に示された 課題解決に向けた具体的な取組	取組状況	取組の担い手		協働推進事業
			行政	市民	
区内に22箇所ある避難所で避難所運営会議を立ち上げ、避難所運営訓練を実施する。	避難所運営会議が普段から自主的に運営訓練を実施できるよう支援を行う。また、防災ネットワーク連絡会議が継続的に開催されるよう支援を行う。 地域の協力を得てモデルとなる避難所を設置して、避難所運営上の課題の整理などを行う。 「防災フェア」やパンフレットの作成・配布などの防災啓発事業を通じて、地域防災力の必要性をPRする。	○ 平成19年度については、7校の避難所運営会議を立ち上げる取組を進めました。19年7月に南加瀬中学校・西御幸小学校・下平間小学校の3つの避難所で避難所運営会議を開催しました。また、9月に塚越中学校・古川小学校、10月に小倉小学校、11月に看護短期大学で開催しました。12月以降も引き続き、避難所運営会議を開催しました。 ○ 平成20年度については、新たに5校の避難所運営会議を立ち上げる取組を進めています。20年9月に戸手小学校・御幸中学、12月に南加瀬小学校・南河原小学校で避難所運営会議を開催しました。今後は21年2月に商業高校での開催に取組めます。 ○ 平成19年度に立ち上げた7校のうち、下平間小学校・西御幸小学校・塚越中学校をモデルとして、避難所運営上の課題整理を行いました。		○	
		○ 防災啓発事業である「防災フェア」を平成20年1月18日～20日、幸市民館で開催しました。 ○ 防災啓発事業である「防災フェア」を平成20年11月12日～13日、区役所で開催しました。実践的な研修会として東京大学の目黒公郎教授発案の机上訓練を行いました。		○	
避難所運営訓練に、民生委員・児童委員協議会、社会福祉協議会等の参加を図り、要援護者の安否確認等支援体制づくりを進める。また、自主防災組織に民生委員・児童委員協議会、社会福祉協議会等の参加を図る。	避難所運営訓練の実施時に、高齢者や障害者など地域の要援護者情報を把握している民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会のメンバーに参加してもらえるよう調整を図る。 要援護者への支援につながっていくように、民生委員、児童委員や社会福祉協議会が避難所運営会議に参加して、情報交換が行なわれるよう調整を図る。 川崎市の要援護者支援の仕組み「災害時要援護者支援制度」に基づいた取組を図っていきます。	○ 区における要援護者避難支援体制づくりなどに向けて、平成19年6月25日の幸区自主防災連絡協議会定期総会において民生委員児童委員協議会の自主防災連絡協議会への加入が決定しました。		○	
		○ 平成19年9月2日、区総合防災訓練にあわせて、区社会福祉協議会等と協働した「災害ボランティアセンター」の立上げ訓練を実施しました。 ○ 平成19年11月18日、幸区自主防災連絡協議会「秋の防災訓練」を御幸小学校(旧河原町小学校)で実施しました。河原町団地において、要援護者の安否確認・搬送訓練を行いました。 ○ 平成20年2月24日、幸区春の防災訓練を塚越中学校・下平間小学校・塚越沼ノ上公園で実施しました。塚越3丁目において、要援護者の安否確認訓練を行いました。 ○ 平成20年3月3日～6日、地区ごとに要援護者避難を実施しました。 ○ 平成19年7月25日、8月2日、8月9日、町内会・自治会に要援護者避難支援制度の説明と協力要請を行いました。 ○ 総務局危機管理室や健康福祉局などと連携をしながら、全市的な取組みとして、災害時要援護者避難支援制度を平成19年12月から開始しました。 ○ 追加登録者の名簿について、毎月、町内会・自治会に配付しています。		○	

避難所運営会議
(戸手小学校)

防災フェア

災害ボランティア
センター立上訓練要援護者の
安否確認訓練

幸区区民会議からの提言に対する取組状況について

資料4

提言	提言に示された 課題解決に向けた具体的な取組	取組状況	取組の担い手		協働推 進事業
			行政	市民	
個別避難所運営マニュアル検討などのためのモデルとなる避難所を設置する。	地域の協力を得てモデルとなる避難所を設置して、運営マニュアルの作成を行い、他の避難所での運営マニュアルづくりに役立つよう取組む。	○ 19年8月、幸区版の避難所運営マニュアル(素案)を作成しました。各避難所運営会議に提供し、「避難所運営マニュアル」を検討する際のたたき台として活用しています。 ○ 19年度に引き続き、新たに立ち上げる避難所運営会議に「避難所運営マニュアル(素案)」を提供し、たたき台として活用します。 ○ 20年12月、避難所運営マニュアルのDVDを制作しました。今後、避難所運営会議での運営マニュアル検討に活用します。	○		
医療救護マニュアルに基づく地域医療救護の取組と地域との関係づくりを進める。	災害時における区民への医療救護活動を円滑に行うために、医療救護所の取組や食品衛生対策など、関係団体と連携した取組を進める。	○ 川崎市医師会の「災害時医療救護活動マニュアル」が改訂されたことにあわせて、今後医療関係団体等と連携した取組を検討していきます。 ○ 災害時の避難所等で食品衛生、感染症等の発生予防を図る啓発活動として、平成20年1月、11月に開催した「防災フェア」で衛生対策の啓発リーフレットを配布しました。また、避難所運営会議においても配布しています。		○	



避難所運営マニュアル
DVDのワンカット



衛生対策の
リーフレット

幸区区民会議からの提言に対する取組状況について

幸区区民会議からの提言

2 魅力づくりと市民活動の推進 ～知ってもらおう！地域の生活を豊かにする活動 一つひとつがつながることで 広がる魅力～

- 各団体が横につながる取組を進めよう、各団体の接点をつくっていこう
- 地域のさまざまな団体がつながるように、取組の活性化を図るため、情報提供をしていこう

提言	提言に示された 課題解決に向けた具体的な取組	取組状況	取組の担い手		協働推 進事業
			行政	市民	
各団体が横につながる取組を進める 【取組モデルその 1】 日吉地区の地域資源（加瀬山、夢見ヶ崎動物公園、矢上川等）を活かしたネットワークづくり	地域資源を活用した、各団体のつながりづくりを進めるため、日吉地区をモデル地区として、日吉地区内に点在する多様な地域資源を核として、地域資源を守り、育み、活かす活動をする団体間のネットワークをつくることを応援する。	○ 日吉地区を中心とした自然・環境・歴史・文化等の分野で活動している地域の団体のネットワークづくりに取組んでいます。 ○ 19年7月27日に夢見ヶ崎動物公園で開催された「夢コンサート」を広報や準備面で支援し、併せて、集まった市民に日吉の「わッ」の活動を紹介するスライド上映とパネル展示を行いました。 ○ 各団体の連携で、平成19年7月31日に第1回「日吉の「わッ」日吉のタカラモノってなんだ？」(100名参加)、平成19年8月26日に第2回「みーつけた！日吉のタカラモノ」(80名参加)、平成19年11月24日に加瀬山、矢上川で「タカラモノを探そう エコツアー」(80名参加)を開催しました。 ○ 平成20年3月、夢見ヶ崎動物公園内に「日吉のタカラモノガイドパネル」を設置しました。また、「日吉のタカラモノガイドマップ」を日吉地区の小中学生をはじめ関心のある市民に配布しています(10,000部作成)。 ○ 平成20年6月26日、学習会「加瀬山の昔ばなし」(25名参加)、平成20年8月5日、ミニエコツアー「加瀬山スタンプラリー」(60名参加)、平成20年10月26日、エコツアー「タカラモノをさがそう！きみも日吉の探検隊」(85名参加)を実施しました。 ○ 平成20年7月、11月に「日吉の「わッ」ネットワーク新聞」を発行しました(各4000部)。		○	
各団体が横につながる取組を進める 【取組モデルその 2】 「夢こんさぁと」の出張など、他の団体との協力、協賛することで、広がる魅力づくり	市民の実行委員会が中心になって定期開催している「夢こんさぁと」と、他の団体との協力を進め、横のつながりづくりを応援する。その実施モデルとして、夢見ヶ崎動物公園を会場に野外コンサートの実施に取組む。	○ 日吉地区を中心に様々な分野で活動している地域の団体の協力で、平成19年7月27日、夢見ヶ崎動物公園で「夢こんさぁと」を初の野外コンサートとして開催しました。約300名が参加し、打楽器の演奏後に、各団体の活動紹介のスライド上映を行いました。		○	



日吉のタカラモノ
ガイドパネル
(夢見ヶ崎動物公園内)



タカラモノをさがそう！
きみも日吉の探検隊



野外での「夢こんさぁと」
(夢見ヶ崎動物公園)



「夢こんさぁと」会場で
各団体の活動を紹介

幸区区民会議からの提言に対する取組状況について

提言	提言に示された 課題解決に向けた具体的な取組	取組状況	取組の担い手		協働推進事業
			行政	市民	
地域のさまざまな団体のつながりや取組の活性化を図るために情報の提供を行う 【取組モデルその 〓】 活動拠点の活性化、市民の活動に関する情報提供の促進	住民参加型・双方向性サイトのモデル的な活用の取組として、「さいわいコミュニティサイト」を多くの人に知ってもらい、サイトの活用を促進するための支援を行う。 幸市民協働プラザ（愛称：幸タウンカフェ）が、各種団体の情報交換等の場として活用される支援を行う。	○「さいわいコミュニティサイト」の基本的な運営支援の継続とサイトへの行政情報の提供を適宜行っています。 ○サイトの利用増加に対応するため、サーバー容量の拡充を行いました。 ○サイトの活用を促進するため、平成19年10月23日から幸区ホームページのトップページにリンク用のバナーを設定しています。 ○市民協働プラザを利用する団体の増加を図るため、施設利用を促進する広報を行い、活性化などを支援しています。 ○平成19年11月17日に、幸市民協働プラザの利用促進と市民の協働の活性化を目的に、幸区協働事業フォーラム「れっつ協働～地域から発信～」を開催しました（約100名が参加）。 ○参加と協働を進める特別広報紙を発行しました（20年3月中旬 新聞への折込方式）。		○	



さいわいコミュニティサイト



特別広報紙

幸区区民会議からの提言に対する取組状況について

幸区区民会議からの提言

3 身近な地域での高齢者の健康づくりについて

～健康づくり応援団を立ち上げて 高齢者の健康づくりを地域で進めましょう！～

提言	提言に示された 課題解決に向けた具体的な取組	取組状況	取組の担い手		協働推進事業
			行政	市民	
地域での健康維持・増進の取り組みを進める	地域の自主活動グループの活動紹介、活動情報の発信を支援する。 自主活動グループ会員等を対象とした活動や運営に役立つ講習会を拡充する。 地域の自主活動を支援するボランティアを養成する講座の拡充を行う。 ウォーキング等を活用した身近な地域での健康づくり活動を実施する。 健康づくりを推進するため、大きなウォーキングイベント等を開催する。	○平成20年7月14日、9月1日に自主活動グループ交流会を区民が自由に見学できる形で開催しました。 ○健康づくり自主グループが、お互いの情報交換や健康づくりについて考え合うグループ交流会を行うなど、コーディネート機能の充実を図っています。 ○介護予防ボランティア講座などを行い可能な限り地域で自立した生活ができるよう地域で支えあう人材を育成しています。	○		
		○平成20年度から新たに導入した提案型協働推進事業を活用して、地域での健康維持・増進の取り組みを推進する団体から委託事業提案を受けて、身近な地域から協働の取り組みを進めています。 ・のびのび体操(株式会社明治スポーツプラザ) ・男性シニアの食と健康講座(幸区食生活改善推進員連絡協議会) ○平成20年度から、高齢者が地域とのつながりを持ち、健康の維持増進を図るため、身近な地域での住民主体の健康づくり活動を展開する「健康長寿推進モデル事業」を河原町地区で実施しています。	○		
		○地域の集会場等を活用して健康づくり教室を開催しています。		○	
健康づくり・介護予防の情報発信を進める	高齢者の方は市政だより等、行政の広報紙から情報を得ていることが多いので、健康づくりの特集、地域の健康づくり小冊子の作成等、広報を充実させる。 地域の自主活動グループの活動紹介、活動情報を提供する。 区役所と区民・関係団体などが一緒に企画する「健康づくり講演会」を老人いこいの家など、身近な地域を巡回して開催する。	○介護予防活動等の普及や各種講座の紹介、健康情報を提供する「健康づくりだより」や、保健福祉センター業務等の情報を提供する「保健福祉センターだより」を発行し、公共施設での配布、区内各世帯へのポスティング配布を行うなどを情報提供の充実を図りました。	○		
		○平成20年7月14日、9月1日に自主活動グループ交流会を区民が自由に見学できる形で開催しました。(再掲)	○		
		○「メタボリックシンドローム予防」などの地域の団体の希望するテーマについて、区役所保健所の医師・保健師・管理栄養士・歯科医師・歯科衛生士が地域の集会場等に出向いて行う学習会「出張！健康づくり隊」を平成20年5月から実施しています。		○	
取り組み推進の方策として、仮称・幸区高齢者健康づくり応援団を立ち上げる	健康づくりに取組んでいる区内の関係団体(区全体を対象に活動している団体、スポーツ関係団体も含む)等による「仮称・幸区高齢者健康づくり応援団」を立ち上げて、提言の実施に向けて区役所と協働で取組む。	○区内の関係機関、団体等による連携、協賛の取組みを「かたち」にする、(仮称)幸区高齢者健康づくり応援団の内容等を検討しています。		○	



健康づくり自主活動グループ交流会(社交ダンスの発表)



提案型協働推進事業のびのび体操



提案型協働推進事業男性シニアの食と健康講座



河原町健康長寿まつり

幸区区民会議からの提言に対する取組状況について

幸区区民会議からの提言

4 安心して子育てできる環境づくりについて

～子どもたちが地域の中で健全に成長できるように、地域全体で子育てを支えていく取組みを進めましょう～

提言	提言に示された 課題解決に向けた具体的な取組	取組状況	取組の担い手		協働推 進事業	
			行政	市民		
子どもと安心・安全に 遊べる居場所、子育て 交流の場づくりを 進める	子育ての楽しみや喜びを分かち合える場として、ベビーカーで歩いていける小学校区に子育て広場等の交流の場があるとよいので、町内会館、こども文化センター等の活用を進める。 交流の場の運営を支える人材が必要であり、「交流の場」開催時に、地域の運営ボランティア活動への参加のきっかけとなるようボランティア体験会を行う。 認可保育所の園庭開放や子育て支援センター利用等をもっと広報する。 保育所の園庭開放は親子で遊ぶだけでなく、親どうしを繋ぐ場にする。 地域子育て支援センター等で、地域のいろいろな世代の方と気軽に子育ての話ができる座談会等を行う。	○こども文化センターを地域子育て支援センターとして活用できるように関係局と調整を行った結果、南河原こども文化センター内に地域子育て支援センター「ふぁみいゆ南河原」が平成20年10月1日に開所しました。 ○親子で安心して遊べる場の提供や父親の育児参加促進・交流の場を拡大する取組みとして、「地域子育て支援センターふるいちば」での第3土曜日開所を平成20年度も継続実施しています。 ○平成19年12月から区内保育所での園庭開放などの取組みにあわせて、絵本の読み聞かせを実施する等、保育所を活用した地域子育て支援の充実を図っています。	○			 地域子育て支援 センターふるいちば 第3土曜日開所
		○子育て支援ボランティア活動への参加のきっかけとなるボランティア体験会を、地域子育て支援センターふるいちばにおいて、平成20年7月から随時実施しています。 ○市政だより幸区版平成19年10月1日号に、区内公立保育所の地域子育て支援の取組みを特集記事「保育園で遊ぼう」で広報しました。	○			 保育園の園庭開放で 読み聞かせを実施
		○地域のかかわり・ふれあいを促進するため、地域交流座談会を地域子育て支援センターで平成20年度中に実施する予定です。		○		
読み聞かせや音楽の 親子体験など子ども の豊かな心をつちか う機会を増やす	未就学のこどもを対象とした読み聞かせ講座や音楽会の実施等、地域で活動している団体などと協力して、読み聞かせや音楽等を親子で体験できる機会を増やす。 お母さん・お父さんが、こどもに読み聞かせをするための読み聞かせ講座を実施する。	○平成19年12月から区内保育所での園庭開放などの取組みにあわせて、絵本の読み聞かせを実施しています。また、広報チラシを作成・発行しています。 ○子育て支援フォト絵本を発行しました。区内保育所などに配付して読み聞かせに活用しました。また、平成20年2月16日に開催した「みんなで子育てフェアさいわい」で配布しました。 ○「みんなで子育てフェアさいわい」で親子を対象に洗足学園音楽大学生による演奏会を実施しました。 ○平成20年度から新たに導入した提案型協働推進事業を活用して、地域での子育て支援を推進する団体から委託事業提案を受けて、身近な地域から協働の取組みを進めています。 ・楽しく子育て@ふるいちば(地域子育て支援センターふるいちばボランティア交流会) 移動動物園(平成20年11月22日開催) ○平成20年9月、お母さん・お父さんを対象とする読み聞かせ講座を実施しました。	○			 子育てボランティア 体験会
						 提案型協働推進事業 楽しく子育て@ふる いちば(移動動物園)

幸区区民会議からの提言に対する取組状況について

提言	提言に示された 課題解決に向けた具体的な取組	取組状況	取組の担い手		協働推進事業
			行政	市民	
子育てに関するニーズの把握と子育て情報の発信を充実させる	子どもの定期健康診査の際にアンケート等を行い、その年齢に合わせた問題点・ニーズを把握し、子育て支援の情報提供に役立てる。 定期健康診査や子育て広場等でのイベント開催時に、会場に情報提供コーナーなどを設置する。 区役所の子育て支援情報紙やホームページ情報の充実、公園などへの子育て情報掲示板の設置、携帯電話の活用等、多様な情報提供を行う。	○平成20年8月、子どもの定期健康診査の際にアンケート等を行いました(現在、集計・分析中)。 ○平成20年4月から幸区ホームページに新たに子育て支援の専用ページを開設しました。 ○市政だより幸区版の平成20年1月1日号から<連載・さいわい子育て情報>の掲載をしています。 ○子育て支援の専用ページの携帯サイト(モバイル版)を平成20年度中に開設します。	○		
		○平成20年4月に区役所庁舎(2階・4階)・日吉合同庁舎(2階)に、こども情報コーナー(掲示板)を設置しました。	○		
「ふれあい子育てサポート」のヘルパーを増やして働くお母さん・お父さんの子育てをサポートする	「ふれあい子育てサポート事業」が利用しやすくなるよう、幸区役所や幸市民館等、身近な所を会場に子育てヘルパー登録研修を行い、幸区内の子育てヘルパーの人数を増やす。	○区内のふれあい子育てサポートヘルパーを増やす取組みとして、幸区役所主催のヘルパー養成講座を平成20年1月18日、22日に区役所会議室で行いました。	○		



子育て支援専用ページ
(こども・子育て情報)



こども情報コーナー
(区役所2階)



子育てヘルパー
養成講座

幸区区民会議からの提言に対する取組状況について

幸区区民会議からの提言

5 自転車に係わる交通安全について

提言	提言に示された 課題解決に向けた具体的な取組	取組状況	取組の担い手		協働推進事業
			行政	市民	
自転車が安全に走行できる環境づくりを進める	新しい基幹道路整備にあたっては、自転車道などの走行空間を確保することが重要である。 既存道路では、街渠など路面改修により、走りやすいように改善を進める。 自転車が走行できるところをわかりやすく示して知ってもらう。	○ 新川崎地区におけるモデル事業として、自転車レーンの整備について実施に向けて設計作業を行っています。 ○ 既存道路の自転車が通行可能な歩道について、自転車利用者の安全走行への注意を喚起する路面表示の整備を進めます。	○		
交通ルール・自転車利用マナーを学び理解する取組を広める	自転車利用のルールやマナーを知らない人が多いので、自転車教室の開催など学び理解してもらう取組を広める。	○ 平成20年度の取組として、小学校3年生及び5年生を対象の、交通安全教室を15回実施し、1,276人が参加しています。 ○ 小中学生を対象に自転車利用マナーの標語コンクールを実施して、平成20年10月18日、区民祭で優秀作品の表彰式を行いました(応募作品 786作品)。 ○ 平成20年11月10日、区老人クラブ連合会の主催により、区役所で、高齢者を対象とした交通安全教室を開催しました。	○		
交通ルールや自転車利用マナーの違反者に、守ることを呼びかける取組を行う	マナーの悪い人へ強く指導できる仕組みが重要である。 交通安全に取り組み既存組織などの協力のもと、「マナーアップ呼びかけ隊」のような街頭でのマナーアップ運動を行う。	○ 関係機関・団体と連携し、春及び秋の全国交通安全運動期間中に交通安全キャンペーンを実施し、ルール、マナーを呼びかけていきます。 ○ 夏及び年末の交通事故防止運動期間中に自転車の街頭点検を実施し、区民に対する自転車マナーアップの啓発活動に広く取組んでいきます。 ○ 平成20年9月、町内会交通部長連絡会等で、「自転車マナーアップ呼びかけ隊」の結成について、情報提供を行いました。 ○ 東古市場市営住宅自治会を中心とするボランティアが、「自転車マナーアップ呼びかけ隊」を結成し、登校時の児童の見守り活動にあわせて、自転車運転者に対して、地域で交通ルールやマナー向上を呼びかける啓発活動を平成20年10月から行っています。	○		



路面表示(イメージ)



標語優秀作品の掲示
(区役所1階)



自転車利用マナー
標語コンクール表彰式



自転車マナーアップ呼
びかけ隊(東古市場)

幸区区民会議からの提言に対する取組状況について

幸区区民会議からの提言

6 地域でのごみ減量・リサイクルについて

提 言	提言に示された 課題解決に向けた具体的な取組	取 組 状 況	取組の担い手		協働推 進事業
			行政	市民	
ごみを減らす取組として、レジ袋でなくマイバッグを利用しましょう。 ～ できることから無理のない取組として、はじめてみよう ～	マイバッグの利用促進のためには、商店街などに協力してもらい、一緒にマイバッグ利用を奨励する取組を行う。 協力商店街でのマイバッグ持参者への特典サービスなど、取組のきっかけと楽しみの仕掛けをつくる。 新しく幸区民になった方へ、転入時に啓発物やチラシの配布を行う。	○平成20年3月～4月に、区役所庁舎にマイバッグ利用を呼びかける懸垂幕を設置しました。 ○さいわい区民音楽祭、さくらフェスタ日吉、夢コンサート等の協賛イベントでマイバッグを配布しました。 ○加盟店舗でのキャンペーン・ポスターの掲示や、川崎フロンターレ協力による特典サービス(試合当日クーポン券)の提供を、商店街と連携して実施しました。		○	
		○平成20年3月～4月に、マイバッグ利用を促進する、さいわいマイバッグキャンペーンを実施しました。 ○平成20年4月、区役所・出張所での転入手続き時に、さいわいマイバッグや啓発チラシを配付しました。		○	
「出前ごみ講座」等を開催して、地域で3Rの取組を知ってもらいましょう ～ 地域でごみの減量・リサイクルを学んでもらい、協力してもらおう ～	様々な団体などと協力して、身近な地域での出前ごみ講座の開催を増やして、多くの方に参加してもらおう。 ごみ講座などを修了した方は、啓発物がもらえるなど参加する楽しみをつくる。 3R推進などの広報ステッカーを、ごみ集積場など見える場所に掲示し、取組を知ってもらおう。	○平成20年10月21日、11月25日、小倉5町内会の主催により小倉公会堂において、11月15日、南河原地区町連の主催により南河原老人いこいの家において「出前ごみ講座」を開催しました。参加者にはさいわいマイバッグを配付しました。 ○平成20年12月6日、古市場町内会と「出前ごみ講座」の開催に向けて調整を進めています。		○	
地域での取組「資源集団回収」活動を広めましょう ～ 活動の輪を広げる、実施回数を増やすなど、毎週、身近な地域で資源集団回収が行われるようにしましょう ～	資源集団回収の実施場所や日程などがわかる情報マップをつくる。 焼却しないで済むので環境に優しいこと、奨励金がPTA活動など地域活動に役立っていることなど広報を行い、活動団体や参加者を増やす。	○資源集団回収の地域別の実施情報等をお知らせする啓発物の作成に向けた調整を環境局等と進めています。		○	



さくらフェスタでマイバッグを配付(日吉分館)



マイバッグキャンペーン広報ポスター



さいわいマイバッグ



出前ごみ講座
(小倉公会堂)